

平成26年度当初予算 予算要求シート

整理番号

38 - 052

マスタープラン
3つの挑戦

—

マスタープラン
施策番号

3 - 4

局・課名

教育委員会事務局・教職員課

区分

その他一般施策

(単位 千円)

事業名	教員指導力回復・向上事業(政令市)		平成24年度決算額	平成25年度予算額	平成26年度要求額
		事業費	187	381	297
関連事業	教職員研修事業(教育センター)	事業期間	H ~ H	全体事業費	
事業目的	今年度要求のポイント				
文部科学省の「指導が不適切な教員に対する人事管理システムのガイドライン」に基づき、指導が不適切な教員等に対して、早期に対応し、研修を通じて指導力の回復・向上を図るシステムを運用することにより、保護者及び市民の教育への信頼を築く。		専門家等会議の運営に必要な予算を要求する。			
事業内容	主な要求内容 (単位：千円)				
学校園長が指導に課題があると考える教員に対し、学校園において観察・指導・サポート（研修等）を行い改善を図る。それでも改善が見られず、支援が必要であると判断した場合は、教育委員会において対応を検討し、専門家等会議の意見を聴いて、「指導が不適切である」教諭等として認定し、教育センターにおいて研修を実施する。 研修の成果については、学期ごとに検証を行い、専門家等会議の意見を聴いて、現場復帰若しくは研修継続、その他の措置等の決定をする。 研修期間は、原則1年として、延長しても2年を超えないこととしている。	項目	25年度予算	26年度要求額	内容・積算等	
	専門家等会議委員報酬	0	123	@10,200円×4人×3回	
	旅費	119	119		
	消耗品費等	55	55		
	専門家等会議謝礼金	207	0		
	その他				
	合計	381	297		
スケジュール（経過及び今後展開）				その他 特記事項	
【経過（～25年度）】 指導改善研修の実施・各学校園内研修の支援・専門家等会議の開催		【26年度】 指導改善研修の実施・各学校園内研修の支援・専門家等会議の開催		【今後(27年度～)】 指導改善研修の実施・各学校園内研修の支援・専門家等会議の開催	